

主な理由は下記の通りである

- ①施設再開に向けた具体的な対策が示されていない
- ②プールの存続に予算を配分することで、他の事業に支障が出る可能性がある
- ③紹介議員からの提案内容について、具体的な根拠が示されていない

この請願は、豊山スカイプール利用者が、町の決定に再考を促す意向を明確に示したものとして、議会として重く受け止める。今後、町民の意向を尊重しつつ、町長が財政計画を示したうえで、再検討することを求める。

予算の執行にあたり、町民の意見を十分に反映し、適正かつ効果的な事業運営を求めるために下記の附帯決議を提出した

1. タウンミーティングの開催について

町長は豊山スカイプールの存続に関する意見聴取を行うと表明しているが、開催予定回数は3回のみであり、十分な意見聴取が困難である。限られた範囲の意見のみを基に重要な決定がなされる可能性が高いため、追加の意見収集方法を検討し、その結果を議会に共有することを求める。

2. アンケート調査の実施について

豊山スカイプールの存続に関するアンケートは、調査概要が未確定のため、調査方法や内容を早急に決定することを求める。

3. 新年同窓会・ふるさと応援クーポンの発行について

二十歳の集いの参加者へ発行される3000円のクーポンは、使用期間が令和8年1月4日から1月31日までの約1カ月間に限定されている。多様な業種、使用期間の延長を検討することで、より多くの方が恩恵を受け、地域経済全体への効果が期待できるよう改善を求める。

